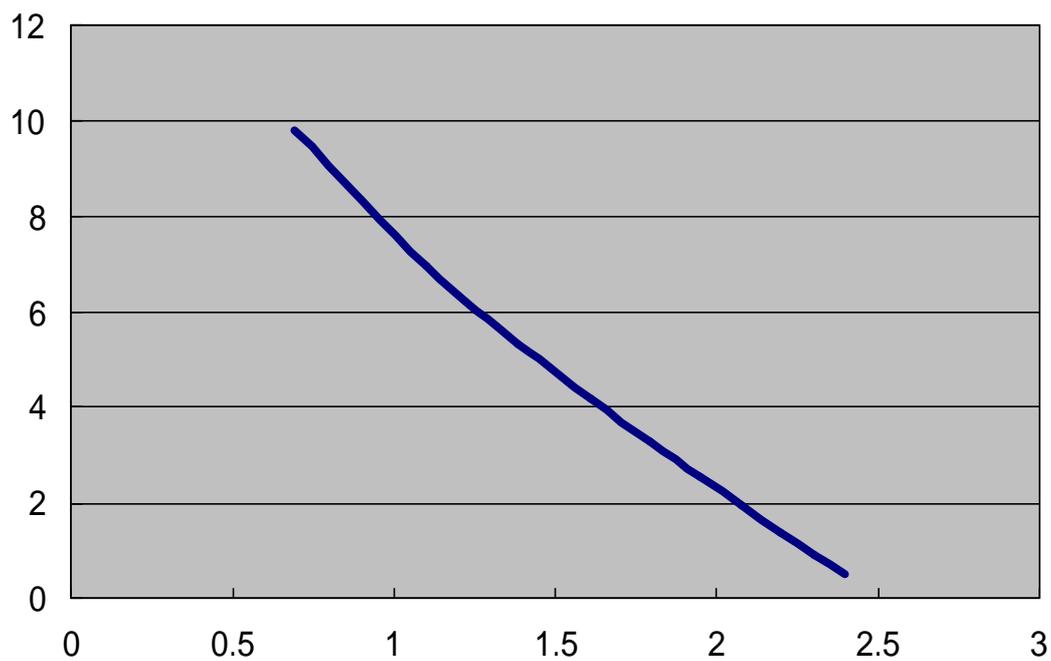


表 1

	Barro	H=J	SX
(1-A) 国家制度・社会ルールの信頼性に関する指標： 例：汚職・民間資産の国有化、法秩序・官僚の質	Yes	Yes	
(1-B) 政治体制に関する指標： 例：デモクラシー、革命の数・内戦	No		Yes
(1-D) 経済体制（政府による経済統制の程度）		Yes	Yes
(2) GDP に占める政府の割合	No	Yes	
(3) 市場の歪みに関する指標（esp. Black Market Premium）：			Yes
(4) 男子の教育水準	No		
(5) 平均寿命	No		
(6) 出生率	Yes		
(7) 交易条件の変化	Yes		
(8) 国際貿易に対する開放度(Sachs = Warner)		Yes	Yes
(9) 一次産品が GDP・輸出に占める割合		Yes	Yes
(10) 国際語		Yes	
(11) 赤道からの距離・地域ダミー(アフリカ・ラテンアメリカ)		Yes	Yes
(12) インフレ率	Yes		
(13) 設備投資(Equip Investment)			Yes
(14) スペインの旧植民地			Yes
(15) 宗教			Yes
(+ : 儒教、仏教、イスラム； : プロテスタント、カトリック)			

図 1

ソロー型新古典派成長モデルにおける「収束」

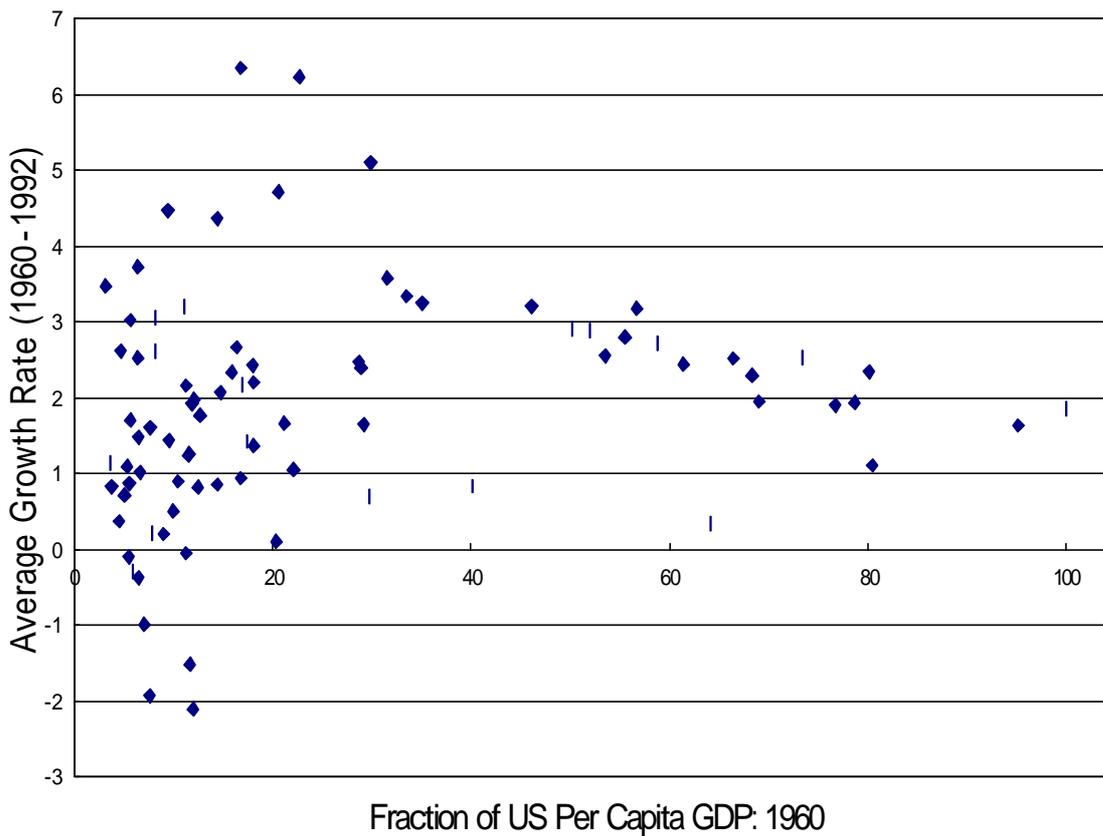


横軸： サンプルの初期時点での一人当たり所得（産出量）

縦軸： サンプル期間内の平均成長率

図 2

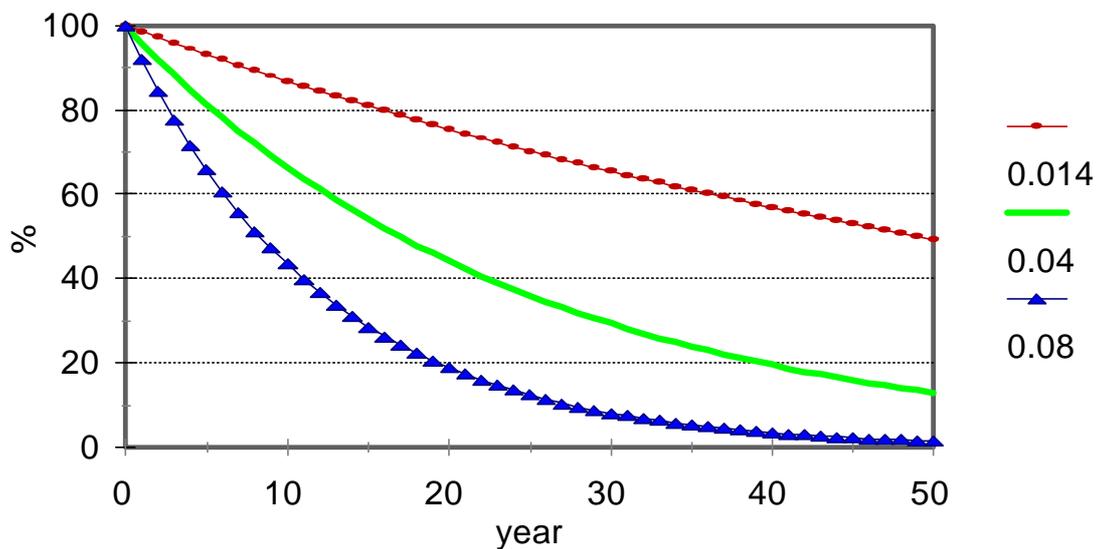
世界各国の 1960 年時点での一人当り所得と
1960 年 - 92 年間の平均成長率



Data source: Summers and Heston (the Penn-World table)
本文の脚注 4 参照.

図 3

異なる推定方法による収束スピードの差



横軸： 時間 (年)

縦軸： 第 N 年における、均斉成長状態との一人当り所得水準の差
(初期時点 N=0 での距離を 100 とした場合)

収束のスピード

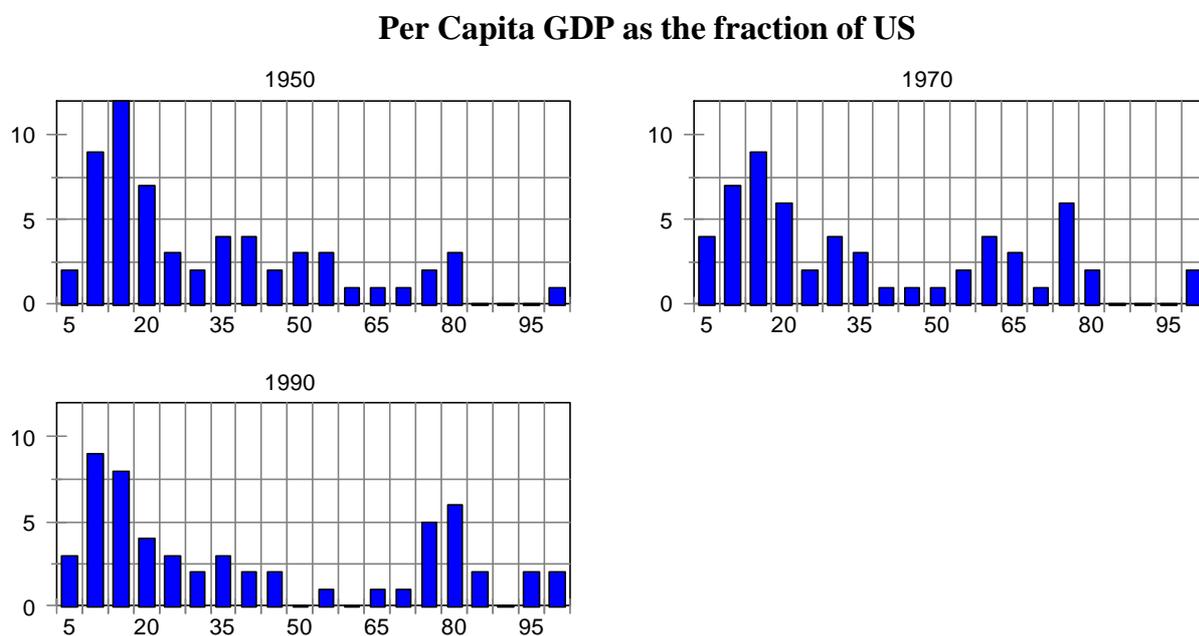
Cross-section (Barro; Mankw, Romer, and Weil): 0.014 (1.4% per year)

Panel Data I (Islam; Knight, Loayza, and Villanueva): 0.04 (4% per year)

Panel Data II (Casselli, Esquivel, and Lefort): 0.08 (8% per year)

図 4

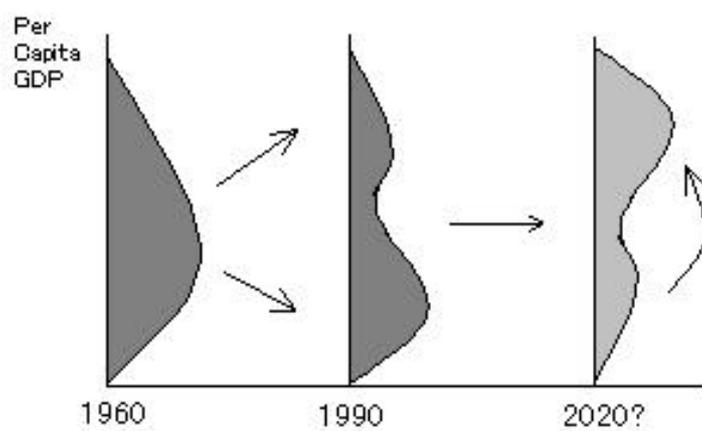
世界各国の一人当り所得の分布の推移



Data source: Summers and Heston (the Penn-World table)

図 5

「成長の奇跡」による(将来の)一人当り所得の分布の変化



See Jones (1998b).

図 6

資本蓄積と資本 / 労働比率の上昇

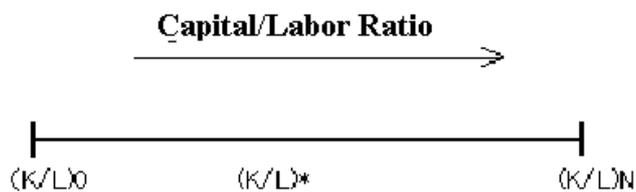
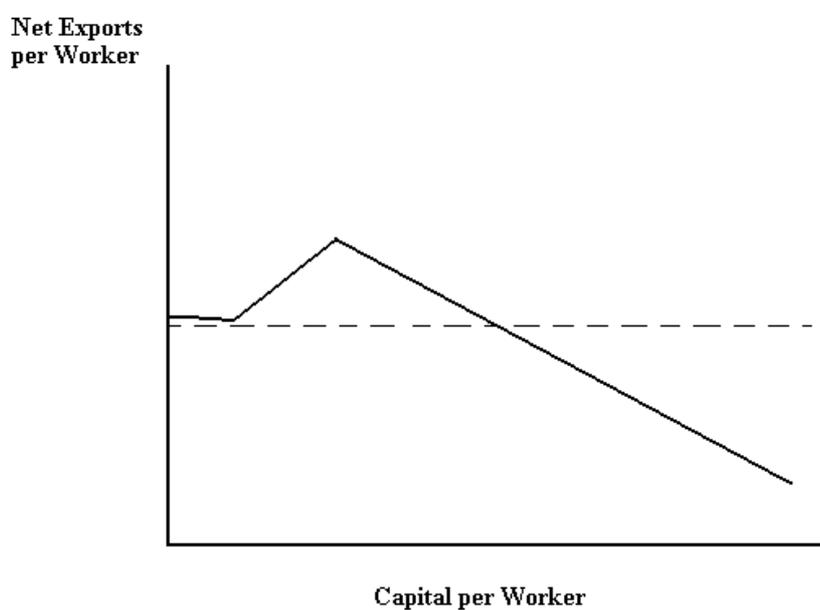


図 7

労働集約的な工業製品の純輸出と資本蓄積の関係

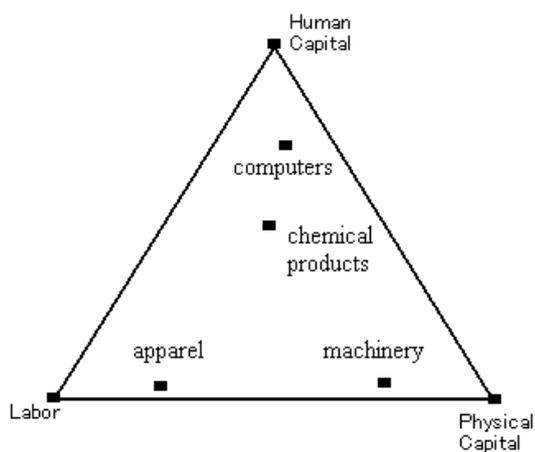


See Leamer (1998b, Figure 17).

図 8

リーマー (Leamer) の三角形

Panel A: The Leamer Triangle



Panel B:

